



NECのセキュリティソリューションなら、 いまだけでなく、先のリスクにもすばやく対応できる セキュリティ環境を実現します。

NECでは、PCやサーバをはじめ、DMZやメール、ネットワーク、さらに統合管理など、多彩なセキュリティソリューションによってITからネットワーク、物理領域まで、安心・安全なセキュリティ環境を実現します。外部からのセキュリティ脅威や内部からの情報漏えいリスクに対応できる、充実した製品やソリューションを、NECでは揃えています。

詳しい内容は、NECのセキュリティソリューションの
ホームページをご覧ください。

<http://www.nec.co.jp/security/>



幅広いセキュリティニーズへ、具体的に応える充実の製品ラインナップ

	対応領域	製品ラインナップ
セキュリティマネジメント	▶ ID管理・認証・アクセス管理	WebSAM SECUREMASTER / SecuveTOS / SmartOn
	▶ 統合ログ管理	RSA enVision™ powered by Express5800
	▶ IT資産管理	InfoCage セキュリティリスク管理
システムセキュリティ	▶ コンテンツセキュリティ	InfoCage FileShell / Webコンテンツプロテクター AE / Webブラウザプロテクター AE
	▶ Webセキュリティ	InfoCage SiteShell / InterSafe
	▶ メールセキュリティ	GUARDIANWALL / AddPoint / WISE Audit / MIMESweeper / PGP Universal
プラットフォームセキュリティ	▶ 情報漏えい対策	Check Point Endpoint Security / InfoCage PCセキュリティ / InfoCage ファイル暗号
	▶ ネットワーク検疫	InfoCage 不正接続防止 / InfoCage PC検疫
	▶ ウイルス対策	ウイルスバスター™ コーポレートエディション 他
	▶ PC操作ログ	InfoTrace Plus

上記製品の他にネットワークセキュリティ製品 (UNIVERGEシリーズ) 等もご用意しております。

さらに詳しく知りたい方は

InfoCage

検索

<http://www.nec.co.jp/infocage/>

REAL IT PLATFORM G2

クラウド・コンピューティングを支える次世代IT基盤

お問い合わせは、下記へ

NEC ITプラットフォームソリューション事業部

〒108-8425 東京都港区芝五丁目33番1号 (森永プラザビル)

TEL: 03 (3798) 5144

E-mail: secsol@itfps.jp.nec.com

●本カタログのシステム名、製品名、会社名、及びロゴは各社の商標または登録商標です。
●本カタログの内容は改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承ください。
●本製品 (ソフトウェアを含む) が、外国為替および外国貿易法の規定により、輸出規制品に該当する場合は、日本国外に持ち出す際に日本政府の輸出許可申請等必要な手続きをお取りください。詳しくは、マニュアルまたは各製品に添付しております注意書をご参照ください。

日本電気株式会社 〒108-8001 東京都港区芝五丁目7-1 (NEC本社ビル)

2010年7月現在

Cat.No. E06-10070230J

セキュリティ対策ソフトウェア

InfoCage



外部からの脅威、
内部からのリスクにも負けない
強いセキュリティ環境を。

<http://www.nec.co.jp/infocage/>

安心・安全なセキュリティ環境の実現には、3つの側面からの対策が重要です。

いま、セキュリティリスクはますます多様化しています。

サーバやPC、ネットワークのセキュリティ強化やウイルス対策、ファイルの暗号化など

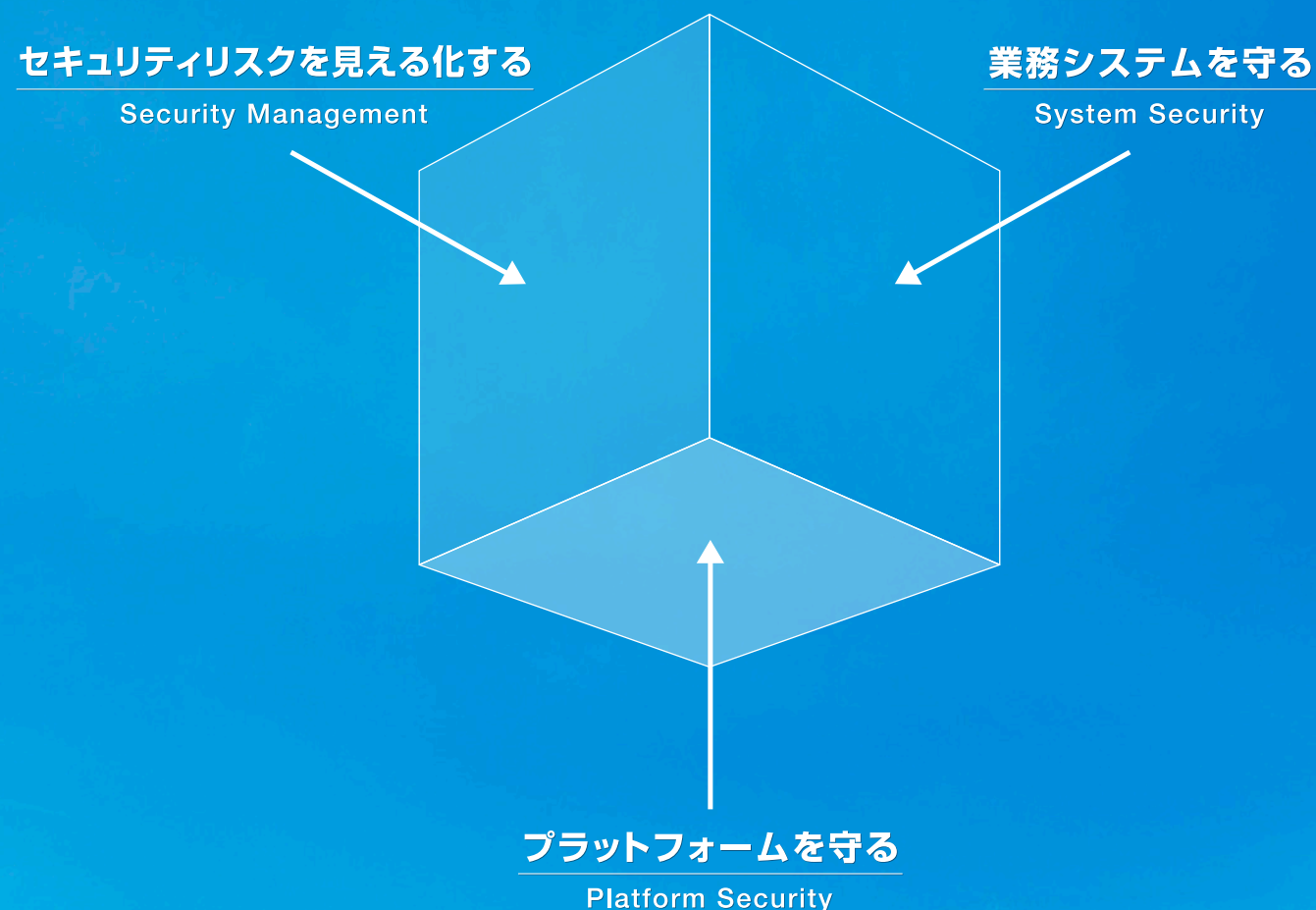
これまでのようなプラットフォーム領域の対応だけでは、重要な情報資産を守ることが難しくなっています。

また、クラウド・コンピューティング時代を迎え、企業にとってのセキュリティ対策が、

これまで以上に大きな課題となっています。これからのセキュリティ対策に不可欠なのは、

「セキュリティリスクを見える化する」「業務システムを守る」「プラットフォームを守る」こと。

この3つの側面からの対策が、より安心・安全なセキュリティ環境を実現します。



InfoCageは、3つの領域をバランスよくカバーし、最適なセキュリティ環境を実現

NECのセキュリティ対策ソフトウェア「InfoCage」は、さまざまなセキュリティリスクに対応する幅広い製品をもとに、その組み合わせや連携により、企業のニーズに最適なセキュリティ環境を実現します。

1 セキュリティリスクを 見える化する [セキュリティマネジメント]

IDやログなどの管理徹底と運用負荷の低減を実現

ID管理・認証、アクセス管理、統合ログ管理、IT資産管理などで、さまざまなセキュリティリスクを「見える化」し、効率的なマネジメントを実現します。

▶ 対応領域 **統合ID管理** **特権ID管理** **統合ログ管理** **セキュリティダッシュボード** **社員証ICカード** **入退場管理**

2 業務システムを守る [システムセキュリティ]

メールやコンテンツなどの業務システムをセキュア化

コンテンツセキュリティ、Webセキュリティ、メールセキュリティなど、サービスや業務システムのセキュア化を図り、安全で快適な業務環境を提供します。

▶ 対応領域 **コンテンツセキュリティ** **Webセキュリティ** **メールセキュリティ**

3 プラットフォームを守る [プラットフォームセキュリティ]

安全性の高いIT・ネットワーク環境を構築

情報漏えい対策やアンチウイルス、ネットワーク検疫により、機密情報の漏えいや不正利用を防ぎ、IT・ネットワークのセキュリティリスクを低減します。

▶ 対応領域 **クライアントPC** **サーバ** **リモートアクセス** **無線LAN認証**

内部からも外部からも、企業全体のセキュリティを強化

